

自衛隊をもっと身近な存在に 中学校全校生徒に対し音楽鑑賞会



新潟地本（本部長 1陸佐 大倉正義）は2月7日（金）長岡市立東北中学校（校長 鷲尾哲郎氏）において、海上自衛隊横須賀音楽隊（隊長 1海尉 長岡英幸）による音楽鑑賞会及び楽器指導会を支援しました。

これは、翌日に長岡市立劇場で行われる演奏会を主催する長岡市自衛隊協力会（会長 丸山智氏）の「音楽隊の素晴らしさをもっと若者にも広めたい」との発案により、吹奏楽の強豪校で昨年の西関東大会に出場した実績を持つ同中学校から音楽鑑賞会と楽器指導の依頼があり実施したものです。

当日、会場となった同校体育館には校長先生をはじめ教諭・全校生徒約750名が集まりました。まず音楽鑑賞会では、気軽に聞いてもらいたいとの意味を持つ「横須賀音楽隊ディキシーランドジャズバンド」8名による演奏が行われ、横須賀音楽隊所属の三宅3海曹の歌とともに入場してきた音楽隊は、軽快な演奏とユーモアたっぷりのメンバー紹介で体育館を笑いに包み込みました。



音楽隊は、新潟県にゆかりのある「天地人」や今話題の「パプリカ」など工夫を凝らし演奏しました。聞き覚えのある曲では生徒達も手拍子で演奏を盛り上げ、曲が終わると歓声が沸き起こりました。

最後に生徒会長から「今日の音楽鑑賞会での音楽隊の演奏に感動し、自衛隊の皆さんを身近に感じることができました。明日の演奏会の前で大変忙しい時に演奏して頂きありがとうございました」と感謝の言葉が贈られ、音楽鑑賞会は終了しました。

その後行われた楽器指導会では、吹奏楽部・合唱部計50名が各パートに別れ、約1時間半のレッスンに臨みました。続いて、音楽隊長が自ら指揮を執り楽器指導の集大成として行った合同練習では、生徒達は中学吹奏楽コンクールの課題曲を音楽隊と共に演奏し、音だしのタイミング、強弱の付け方、上手に演奏するコツなどを丁寧に音楽隊から指導を受けました。生徒達は真剣に耳を傾け修正を行い、最後は音楽隊長も太鼓判を押すほどの美しい音色となりました。



最後に隊長から生徒達へ「今日学んだ事を活かして練習に励んでください。音楽隊も明日の演奏会を頑張りますので、皆さんもコンクールに向けて頑張ってください」と激励の言葉が贈られ、全員が笑顔での記念撮影を行い楽器指導は終了しました。



新潟地本は、今後も多くの生徒に音楽隊の素晴らしさを広め、更なる自衛隊への親近感の醸成に努めていきます。